

ふるさと希望指数(LHI:Local Hope Index) 共同プロジェクト(第二期)報告書

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

平成26年7月

リーダー県：福井県

青森県、山形県、石川県、山梨県、長野県、三重県
奈良県、鳥取県、島根県、高知県、熊本県、宮崎県

ふるさと希望指数(LHI)の概要

プロジェクトの趣旨・目的

- 活力ある未来を実現するためには、人々が、将来に「希望」を持ち、具体的な「行動」を起こすことが必要
- 人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを明らかにし、「希望」を見える化
- 「希望」を政策課題とし、人々の「希望」を高める要素に働き掛けを行う政策を見直し、新たな政策の立案・提案につなげる

ふるさと希望指数(LHI)とは

- 現在の暮らしに対する満足感などから得られる「幸福」だけでなく、より良い未来を実現するため、人々の「希望」につながり、「行動」によって達成することができる要素および「希望」につながる主観的要素を抽出したもの

*人々の「希望」につながる要素の内容を示していると考えられる統計指標を、既存統計の中から選定（第一期においては「参考統計」と名称化したが、より分かりやすい名称とするため、「LHI指標」に変更）

ふるさと希望指数(LHI)のポイント

① 未来志向

現在だけでなく、将来や次の世代が良くなることを願う「希望」を持ち、暮らしやすく豊かな未来を自らがつくり上げる

②「希望」を見える化

人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを明らかにし、人々の「希望」につながる要素を抽出

③ 行動重視

行政が政策により個人の「行動」をバックアップし、「希望」につながる要素を達成することで、人々の「希望」が向上

③ 主観的充足感への着目

自分自身が生き方を選択して参画しているという主観的な充足感を高めることにより、人々の「希望」が向上

ふるさと希望指数(LHI)の構成

ふるさと希望指数(LHI)を構成する分野と要素

仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 就業している
- 正規の職員・従業員として働いている
- 世帯当たりの収入が高い
- 仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている
- 高齢者も働き続けている
- 仕事や収入などにストレスがなく充足している



家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 結婚して新しい家族を持つ
- 子どもを持つ
- 家族でコミュニケーションがとれている
- 夫婦のワークライフバランスがとれている
- 高齢者が家族とともに暮らしている
- 家族関係や育児などにストレスがなく充足している



健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 病気やけがなどがなく健康である
- 健康に長生きする
- 健康の維持に努めている
- 子どもの基礎体力が高く元気である
- 高齢者がスポーツに取り組んでいる
- 自分や家族の健康にストレスがなく充足している

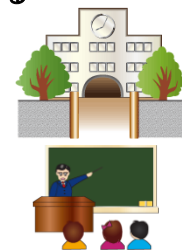


教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 子どもの学力が高い
- 子どもの道徳心や社会性が高い
- 子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している
- 大学等の高等教育機関で学ぶ
- 高齢者が自己啓発に励んでいる
- 子どもが自分の良さを認識している



地域・交流

地域に魅力(誇り)を感じ、社会貢献活動や地域活動などを通じて、地域や他者とのつながりを持つことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 社会貢献活動に参加している
- 子どもが地域行事に参加している
- 学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している
- 犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である
- 高齢者が社会との関わりを持ち続けている
- 人間関係や地域の安全などにストレスがなく充足している



ふるさと希望指数(LHI)の構成要素とLHI指標

分野	希望につながる主な要素	LHI指標	出典
仕事	就業している	就業率	労働力調査から独自集計(毎年)
	正規の職員・従業員として働いている	正規就業者率	就業構造基本調査(5年ごと)
	世帯当たりの収入が高い	実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	家計調査(毎年)
	仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている	職業訓練・自己啓発実施率	就業構造基本調査(5年ごと)
	高齢者も働き続けている	高齢者有業率	就業構造基本調査、人口推計から独自集計(5年ごと)
	仕事や収入などにストレスがなく充足している	仕事充足率	国民生活基礎調査から独自集計(3年ごと)
家族	結婚して新しい家族を持つ	結婚率	国勢調査を基に国立社会保障・人口問題研究所が算定(5年ごと)
		結婚率(男性)	
		結婚率(女性)	
	子どもを持つ	合計特殊出生率	人口動態調査(毎年)
	家族でコミュニケーションがとれている	子どもの家族交流率	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		家の人と学校での出来事について話をしている割合(小学校)	
		家の人と学校での出来事について話をしている割合(中学校)	
		家の人と一緒に夕食を食べる割合	
	夫婦のワークライフバランスがとれている	家の手伝いをする割合	
		家庭内ワークライフバランス率	
		共働き世帯割合	
		家事時間(男)	
	高齢者が家族とともに暮らしている	3次活動時間	社会生活基本調査(5年ごと)
		家族等同居高齢者率	国勢調査(5年ごと)
		家族関係充足率	国民生活基礎調査から独自集計(3年ごと)
健康	病気やけがなどがなく健康である	健康実感率	国民生活基礎調査から独自集計(3年ごと)
	健康に長生きする	自立調整健康寿命(0歳)	国勢調査を基に[独]福祉医療機構が算定(5年ごと)
		自立調整健康寿命(0歳)男性	
		自立調整健康寿命(0歳)女性	
	健康の維持に努めている	健康診断受診率	国民生活基礎調査(3年ごと)
	子どもの基礎体力が高く元気である	子どもの体力	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(毎年)から独自集計
		体力点合計(小学:男子)	
		体力点合計(小学:女子)	
		体力点合計(中学:男子)	
	高齢者がスポーツに取り組んでいる	体力点合計(中学:女子)	
		高齢者スポーツ行動者率(年間)	社会生活基本調査(5年ごと)
	自分や家族の健康にストレスがなく充足している	健康充足率	国民生活基礎調査から独自集計(3年ごと)

ふるさと希望指数(LHI)の構成要素とLHI指標

分野	希望につながる主な要素	LHI指標	出典
教育	子どもの学力が高い	子どもの学力	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		正答率(小学:国語(知識))	
		正答率(小学:国語(活用))	
		正答率(小学:算数(知識))	
		正答率(小学:国語(活用))	
		正答率(中学:国語(知識))	
		正答率(中学:国語(活用))	
		正答率(中学:算数(知識))	
		正答率(中学:国語(活用))	
	子どもの道徳心や社会性が高い	子どもの道徳心・社会性	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		人が困っているときは、進んで助ける(小学)	
		人が困っているときは、進んで助ける(中学)	
		人の気持ちがわかる人間になりたい(小学)	
		人の気持ちがわかる人間になりたい(中学)	
		人の役に立つ人間になりたい(小学)	
		人の役に立つ人間になりたい(中学)	
	子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している	将来の夢や目標を持っている(小中学生)	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		将来の夢や目標を持っている(小学)	
		将来の夢や目標を持っている(中学)	
	大学等の高等教育機関で学ぶ	大学等進学率	学校基本調査(毎年)
	高齢者が自己啓発に励んでいる	高齢者自己啓発時間	社会生活基本調査(5年ごと)
	子どもが自分の良さを認識している	子どもの自己肯定感率	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		自分には、よいところがあると思う(小学)	
		自分には、よいところがあると思う(中学)	
地域・交流	社会貢献活動に参加している	ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	社会生活基本調査(5年ごと)
	子どもが地域行事に参加している	子どもの地域行事への参加率	全国学力・学習状況調査から独自集計(毎年)
		子どもの地域行事への参加率(小学)	
		子どもの地域行事への参加率(中学)	
	学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している	交際時間(15歳以上)	社会生活基本調査(5年ごと)
	犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である	刑法犯認知件数(人口千人当たり)	犯罪統計(毎年)
		交通事故発生件数(人口10万人当たり)	交通統計(毎年)
	高齢者が社会との関わりを持ち続けている	高齢者社会参加時間	社会生活基本調査から独自集計(5年ごと)
		高齢者の趣味・娯楽時間	
		高齢者の社会参加活動等時間	
		高齢者の交際・付き合い時間	
	人間関係や地域の安全などにストレスがなく充足している	交流充足率	国民生活基礎調査から独自集計(3年ごと)

ふるさと希望指数(LHI)の研究【第一期】

「ふるさと希望指数(LHI)」の研究は、東京大学社会科学研究所の知見を踏まえ、独自に大規模なアンケート調査を実施し、人々の「希望」につながる要素を抽出、参考統計によりデータ化する方法を進めた。

① 東京大学社会科学研究所の「希望学プロジェクト」の知見の活用

- 東京大学社会科学研究所の「希望学プロジェクト」が、どのような属性の人が「希望」を持ちやすいかについて研究結果を示していることから、「ふるさと希望指数(LHI)」を構成する分野を選定する際に知見を活用

② 希望の意識調査(アンケート)の実施

- 人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを分析するため、2つの観点から全国規模のアンケート調査を実施
 - ①個人の生活パターン(健康維持活動などの行動の有無)や属性(仕事の有無、収入、家族構成など)と「希望」の有無との相関関係を分析(客観的分析)
 - ②個人の意識(「希望」を持つために重要と考えている要素)を分析(主観的分析)

③ 人々の「希望」につながる要素の抽出

- アンケートの結果から、「希望」があると答えた人の生活のパターンや個人の意識の両面から分析し、人々の「希望」につながり、「行動」によって達成できる20の要素を抽出（詳細は、次頁以降参照）

④ 参考統計によるデータ化

- 人々の「希望」につながる20の要素の内容を客観的に示していると考えられる統計指標を、既存統計の中から参考統計として選定
- 参考統計を分析し、「現状」および「変化率」の複眼的視点からデータ化

ふるさと希望指数(LHI)の選定(第一期)

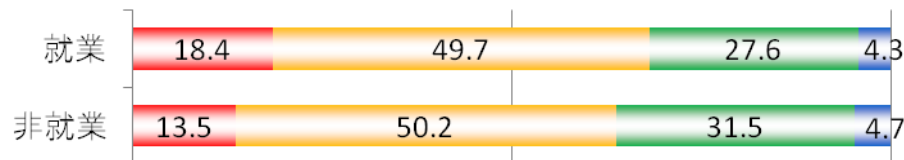
仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ることが、人々の「希望」につながる

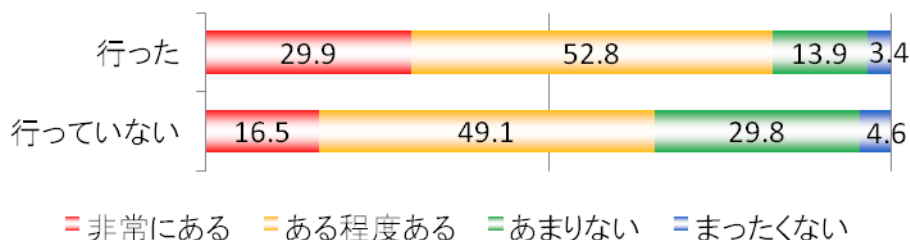
希望につながる主な要素	参考統計
就業している	就業率
正規の職員・従業員として働いている	正規就業者率
世帯当たりの収入が高い	実収入(勤労者1世帯当たり1か月)
仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている	職業訓練・自己啓発実施率

<アンケート結果>

《「希望」と就業との関係》

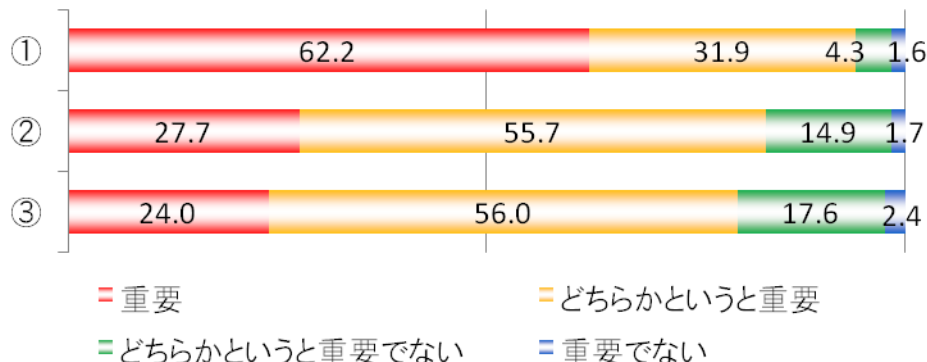


《「希望」とスキルアップ・自己啓発との関係》



《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 正規に雇用され、働く環境が安定していること
- ② 高い収入を得ていること
- ③ 職業訓練や自己啓発によりスキルアップすること



ふるさと希望指数(LHI)の選定(第一期)

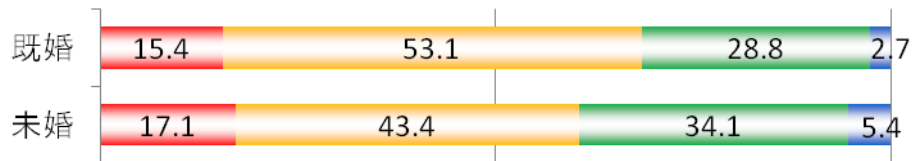
家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つことが、人々の「希望」につながる

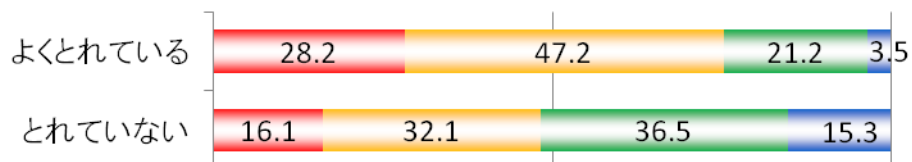
希望につながる主な要素	参考統計
結婚して新しい家族を持つ	結婚率
子どもを持つ	合計特殊出生率
家族でコミュニケーションがとれている	子どもの家族交流率
家庭内のワークバランスがとれている	家庭内ワークバランス率

<アンケート結果>

《「希望」と結婚との関係》



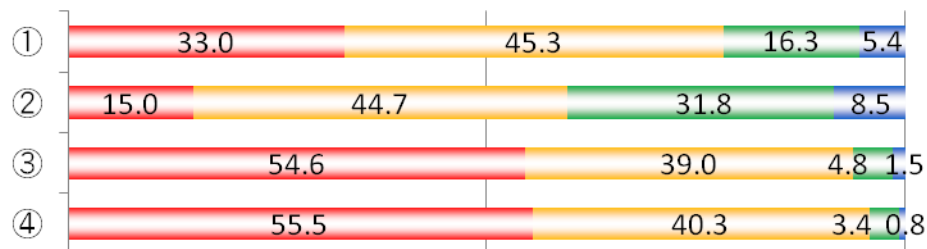
《「希望」と家族間のコミュニケーションとの関係》



■ 非常に重要 ■ ある程度重要 ■ あまり重要でない ■ まったく重要でない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 結婚して新しい家族を持つこと
- ② 多くの子どもや孫を持つこと
- ③ 家族のコミュニケーションがよくとれていること
- ④ 家庭と仕事のワークバランスが良いこと



■ 重要 ■ どちらかというと重要 ■ どちらかというと重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の選定(第一期)

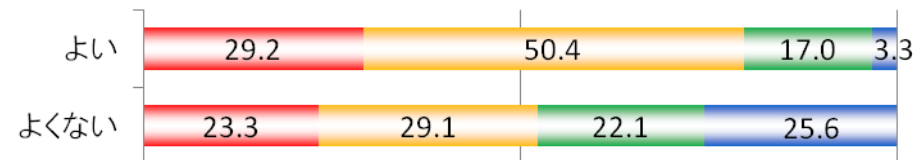
健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけることが、人々の「希望」につながる

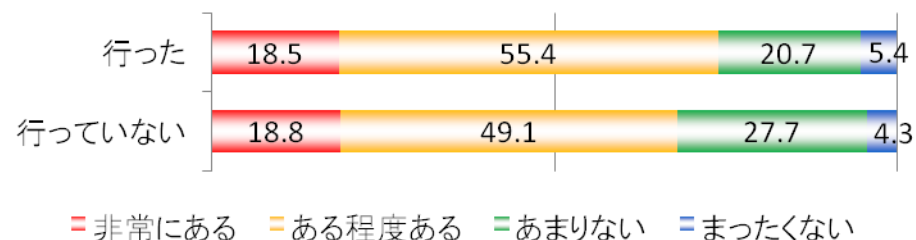
希望につながる主な要素	参考統計
病気やけがなどがなく健康である	健康実感率
健康に長生きする	自立調整健康寿命〔0歳以上〕
健康の維持に努めている	健康診断受診率
子どもの基礎体力が高く元気である	子どもの体力

<アンケート結果>

《「希望」と健康状態との関係》

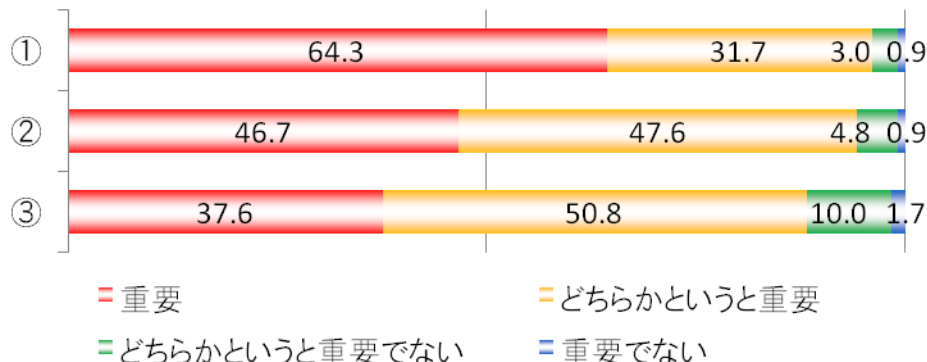


《「希望」と健康維持活動との関係》



《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 病気やけががなく、健康に長生きできること
- ② 日頃からの運動や食生活への配慮により、健康を維持すること
- ③ 子どもの頃から基礎体力が高く元気であること



ふるさと希望指数(LHI)の選定(第一期)

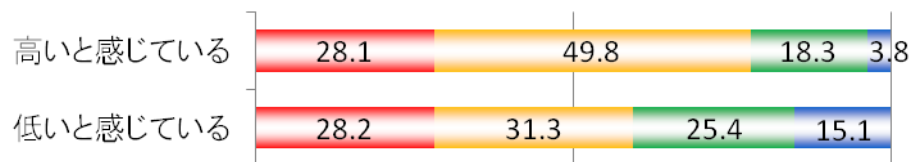
教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすことが、人々の「希望」につながる

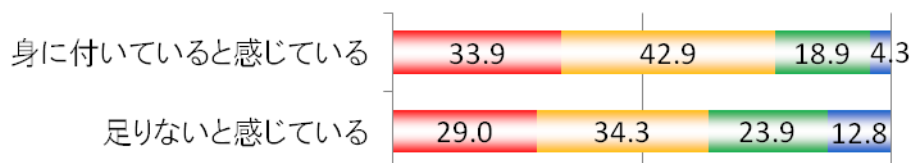
希望につながる主な要素	参考統計
子どもの学力が高い	子どもの学力
子どもの道徳心や社会性が高い	子どもの道徳心・社会性
子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している	子どもの夢・目標・挑戦力
大学等の高等教育機関で学ぶ	大学等進学率

<アンケート結果>

《「希望」と子どもの学力との関係》



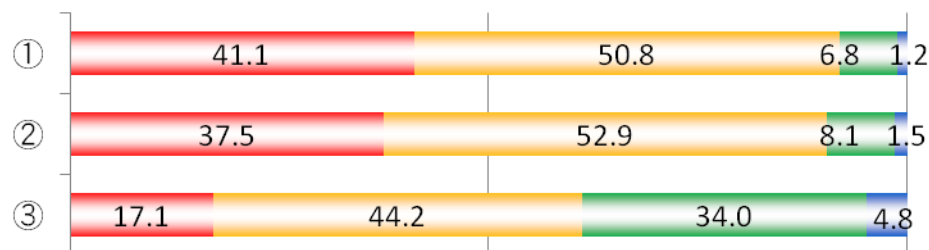
《「希望」と子どもの道徳心や社会性との関係》



■ 非常に高い ■ ある程度高い ■ ある程度低い ■ 非常に低い

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 地域の子どもたちの学力や道徳心が高いこと
- ② 地域の子どもがたちが目標達成のため、積極的に行動していること
- ③ 地域の子どもたちが大学などに進学して学ぶこと



■ 重要 ■ どちらかという重要
■ どちらかという重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の選定(第一期)

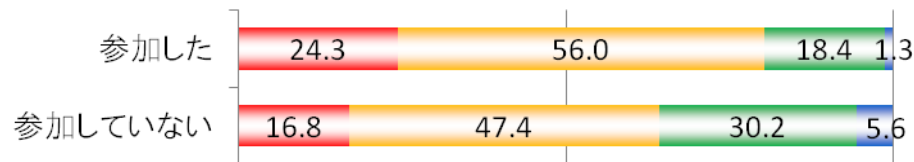
地域・交流

地域に魅力(誇り)を感じ、社会貢献活動や地域活動を通じて、地域や他者とのつながりを持つことが、人々の「希望」につながる

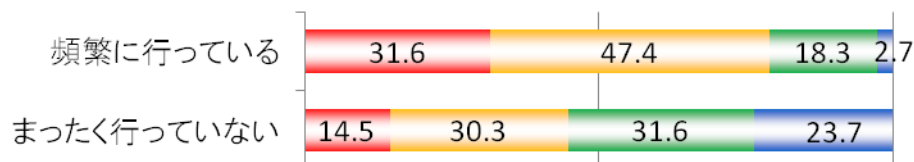
希望につながる主な要素	参考統計
社会貢献活動に参加している	ボランティア活動の年間行動者率〔15歳以上〕
子どもが地域行事に参加している	子どもの地域行事への参加率
学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している	交際時間〔15歳以上〕
犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である	刑法犯認知件数および交通事故発生件数

<アンケート結果>

《「希望」と地域貢献活動との関係》



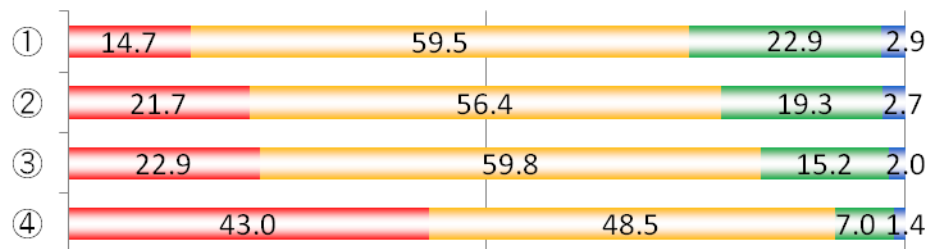
《「希望」と職場以外で信頼できる友人や知人との交際頻度との関係》



■ 非常に重要 ■ 重要程度ある ■ あまりない ■ まったくない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 社会貢献活動などに参加すること
- ② 子どもの頃から地域行事に参加すること
- ③ 学校や職場以外の人との交流を多く行うこと
- ④ 犯罪や交通事故が少ない地域で暮らすこと



■ 重要 ■ どちらかというと重要 ■ どちらかというと重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の研究【第二期】

近年、国内外において人々の暮らしの質に着目した「幸福度研究」が進んでいることを踏まえ、第一期の研究を基に関係機関との研究交流を行い、希望と幸福に関する知見や政策との関わりについて理解を深めるとともに、ふるさと希望指数(LHI)の趣旨に合致して取り入れることができる、新たな希望の要素を探った。

① GNH(国民総幸福量)の知見を活用した、人々の「希望」につながる新たな要素の抽出

- 「国民の幸福」を国家目標に掲げるブータン王国において、人々の幸福度を指標化したGNH(Gross National Happiness:国民総幸福量)による国づくりを主導する国立ブータン研究所と意見交換を行い、GNHの考え方を吸収

自分自身が生き方を選択して社会と関わることから得られる「主観的な充足感」が、希望につながる

② 日本総研の幸福度研究の知見を活用した、人々の「希望」につながる新たな要素の抽出

- 地域の幸福を考えるうえで基盤となる新たな観点や重要な要素を研究し、幸福度を構成する指標を公表している(一財)日本総合研究所と意見交換を行い、「個人や将来のあり姿」から幸福を考える先行指標の考え方等を吸収

高齢者の幸福な生き方は、若者にとっても(自身の将来を重ね合わせることにより)希望につながる

③ LHI指標によるデータ化およびLHI指標の構造分析

- 研究交流により得られた、人々の「希望」につながる10の要素の内容を示していると考えられる統計指標を、既存統計の中から選定
- 30のLHI指標を「現状」、「変化率」の複眼的視点からデータ化し、地方と大都市のデータ比較により地方の暮らしの質の高さの一端を示すとともに、指標間の関係性を分析し、LHIを高める新たな観点からの施策の方向性を示唆

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

① GNH(国民総幸福量)の知見の活用

自分自身が生き方を選択して社会と関わることから得られる「主観的な充足感」が、希望につながる

希望につながる主な要素		LHI指標
仕事	仕事や収入などにストレスがなく充足している	仕事充足率
家族	家族関係や育児などにストレスがなく充足している	家族関係充足率
健康	自分や家族の健康にストレスがなく充足している	健康充足率
教育	子どもが自分の良さを認識している	子どもの自己肯定感率
地域・交流	人間関係や地域の安全などにストレスがなく充足している	交流充足率

② 日本総研の幸福度研究の知見

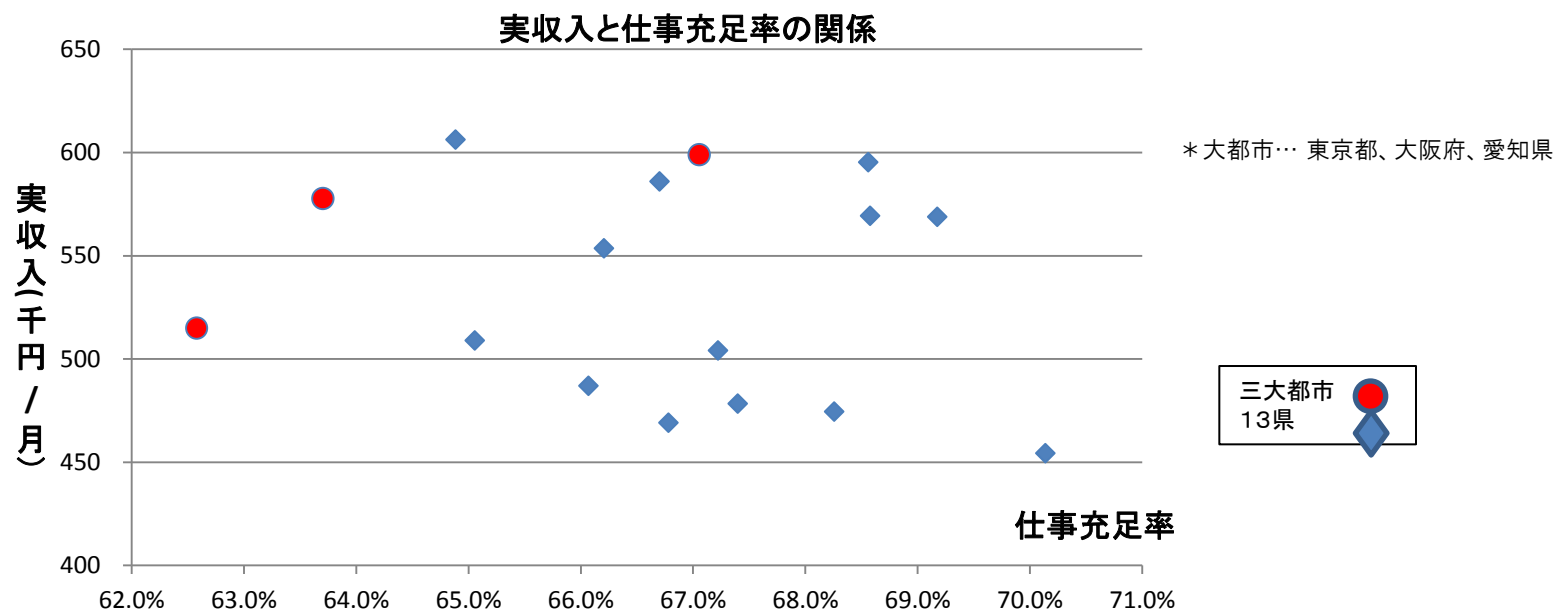
高齢者の幸福な生き方は、若者にとっても(自身の将来を重ね合わせることにより)希望につながる

希望につながる主な要素		LHI指標
仕事	高齢者も働き続けている	高齢者有業率
家族	高齢者が家族とともに暮らしている	家族等同居高齢者率
健康	高齢者がスポーツに取り組んでいる	高齢者スポーツ行動者率
教育	高齢者が自己啓発に励んでいる	高齢者自己啓発時間
地域・交流	高齢者が社会との関わりを持ち続けている	高齢者社会参加時間

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析【仕事分野】

- ◎ 収入は大都市の方がやや高い一方、仕事の充足率では地方(13県)が大都市を上回る傾向・経済面だけでは測れない地方の働きがいの高さを示唆



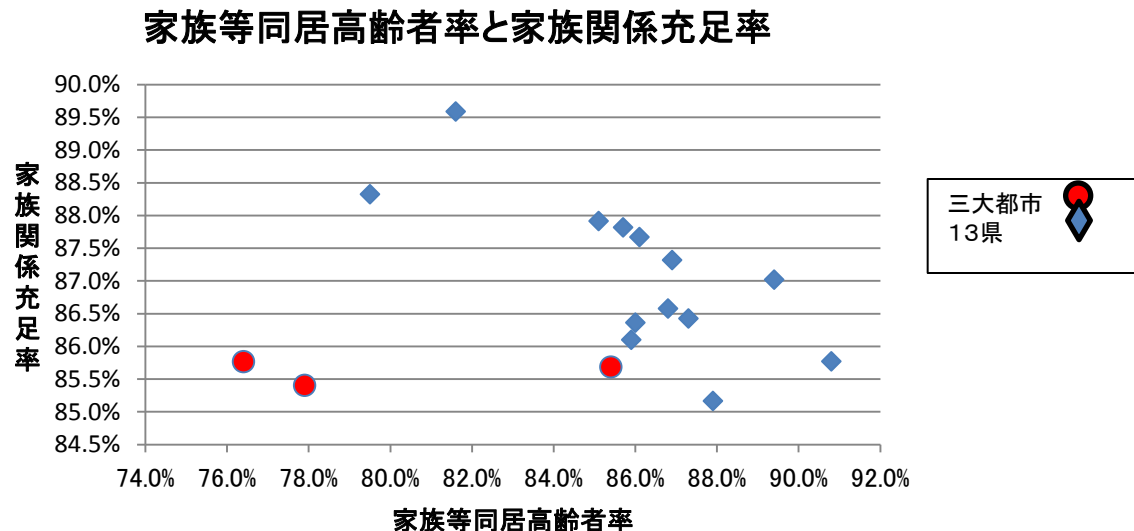
- ◎ 自己啓発実施率の高い地域は、進学や高齢者の自己啓発など、年代を問わず探究心が伴う行動全般が活発な傾向

- ◆ 「職業訓練・自己啓発実施率」は、「大学等進学率」や「高齢者自己啓発時間」、「高齢者スポーツ行動者率」と、相互に関連性が認められる

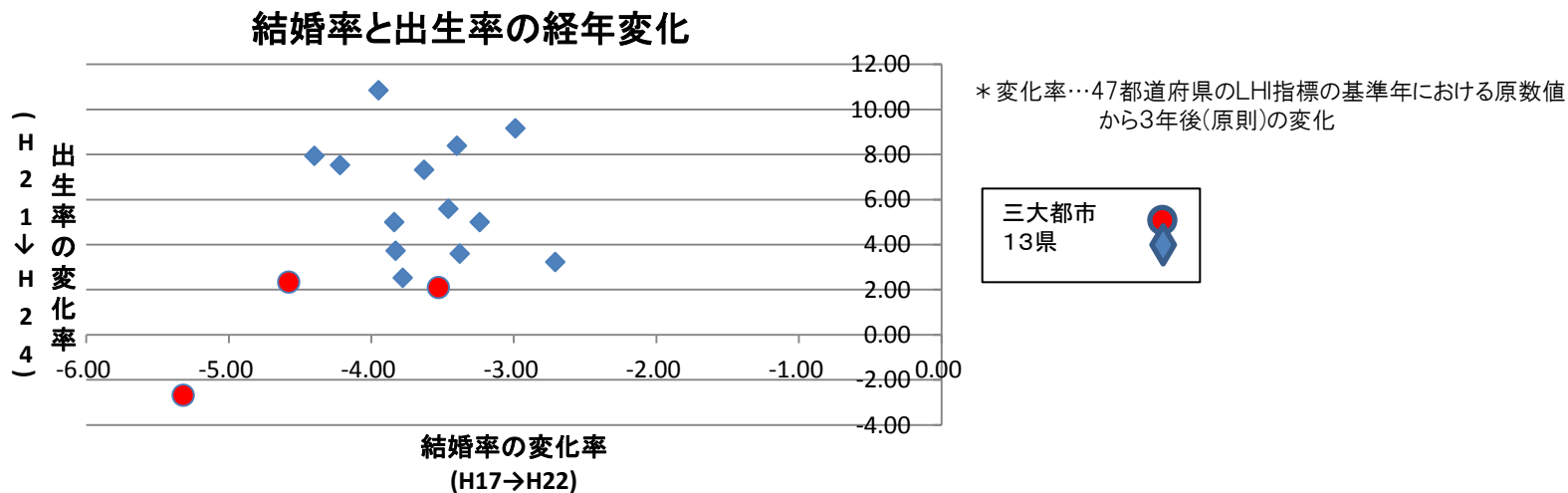
ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析【家族分野】

◎家族関係充足率、家族等同居高齢者率ともに、地方(13県)は大都市を大きく上回る



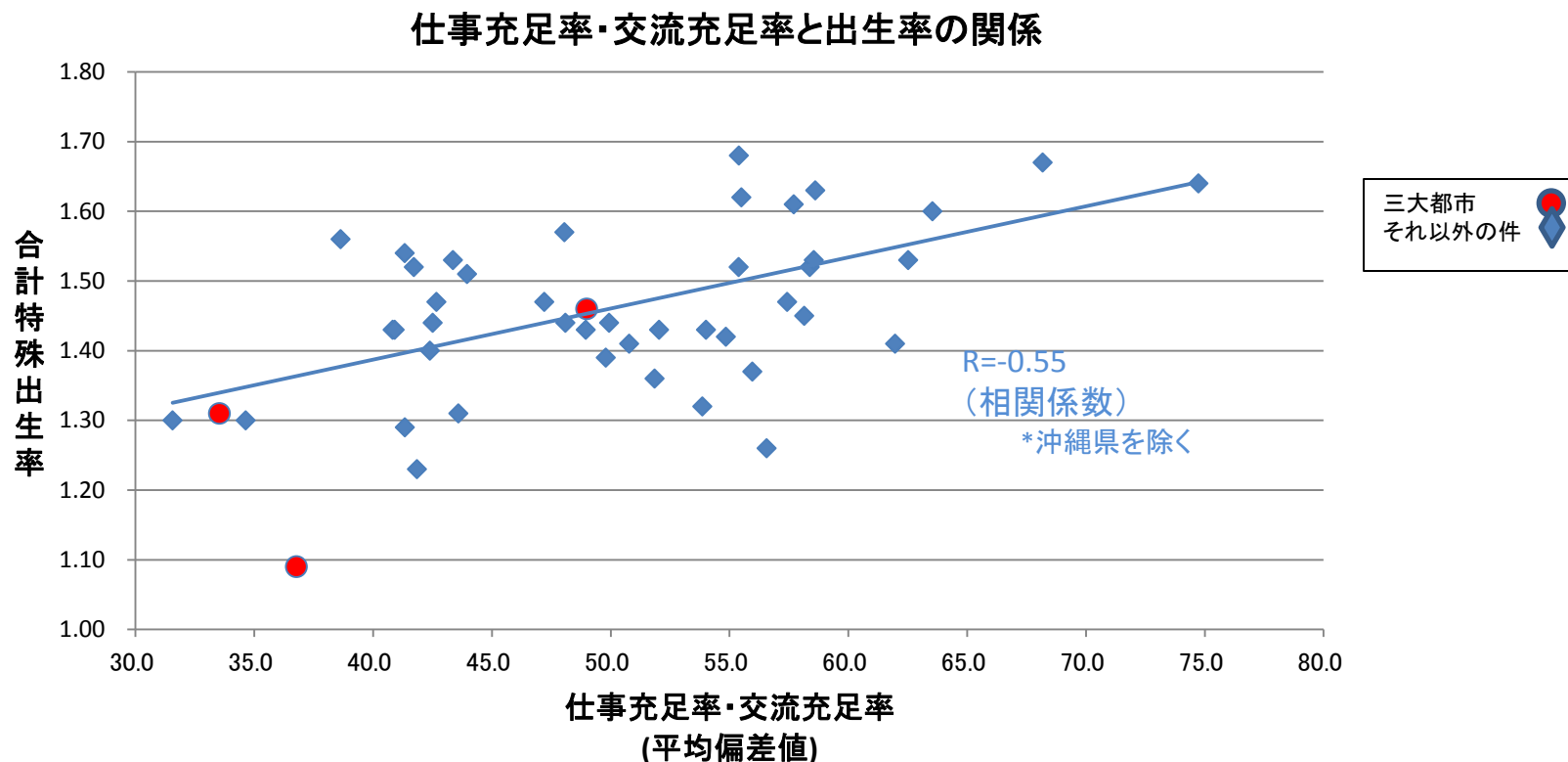
◎結婚率と出生率は、現状値・変化率ともに、地方(13県)が大都市を大きく上回る



ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

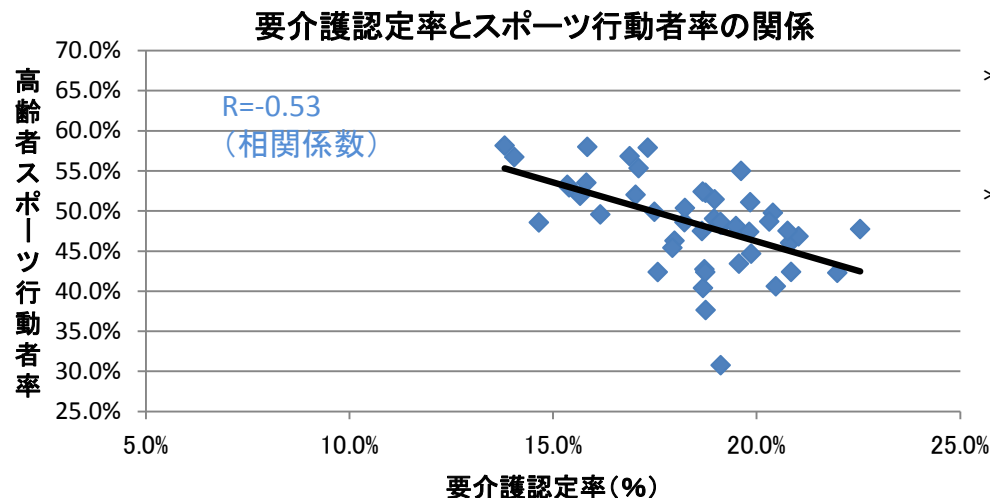
LHI指標の構造分析【家族分野】

- ◎地方が大都市を上回る出生率は、仕事や交流の充足率の高さとの関連性が強い
- ・地方の出生率の高さの秘訣の一端を示唆
 - ・仕事や交流におけるストレスを取り除く環境づくりが、少子化対策となる可能性を示唆



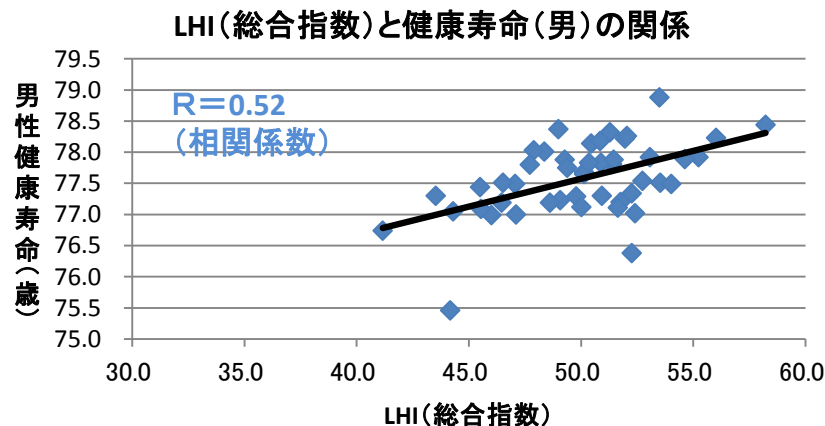
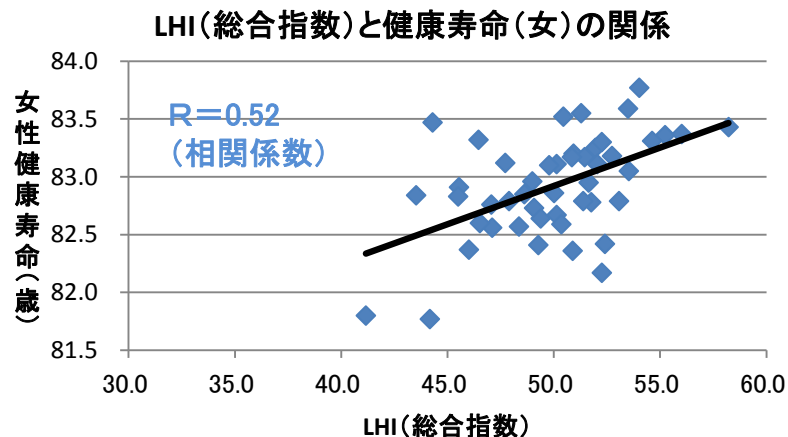
LHI指標の構造分析【健康分野】

- ◎高齢者のスポーツ行動率が高い地域ほど、要介護認定率が低い傾向
- ・医療・介護費の抑制の観点からも生涯スポーツ普及の重要性を示唆



- * LHI総合指標
5分野【仕事、家族、健康、教育、地域・交流】の
偏差値の平均
- * 偏差値… 47都道府県のLHI指標の原数値の平均値を
50、ばらつき(標準偏差)を10として偏差値化

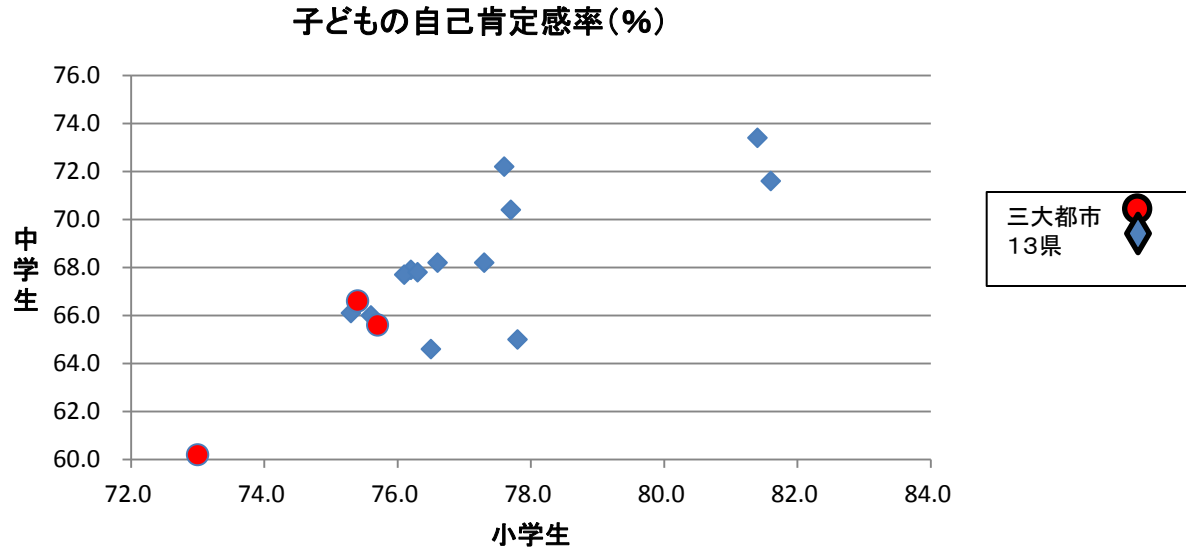
- ◎健康寿命の長い地域は、LHIが総合的に高い傾向



ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

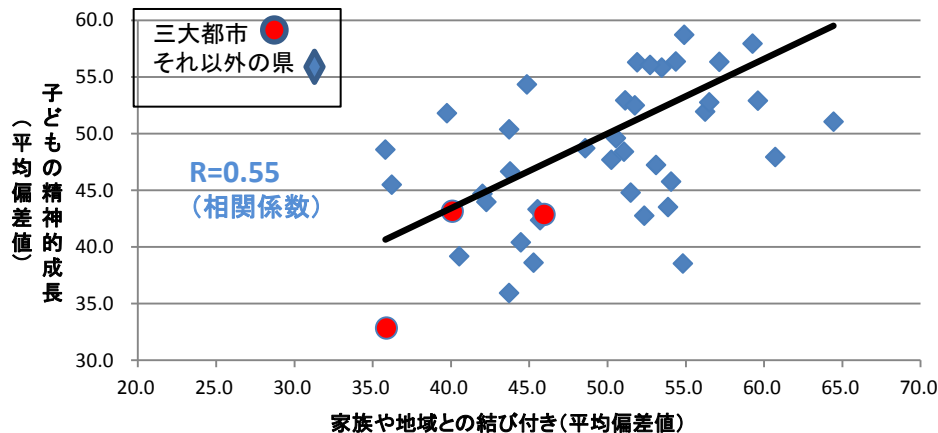
LHI指標の構造分析【教育分野】

◎子どもの肯定感率は、地方(13県)が大都市を大きく上回る傾向



◎子どもの内面的な成長は、家族や地域における結び付きの強さと関係付けられる。

- ・家庭のコミュニケーションや地域との結び付きが、子どもの内面的な成長を支えることを示唆
- ・いずれの指標も、地方が大都市を大きく上回る

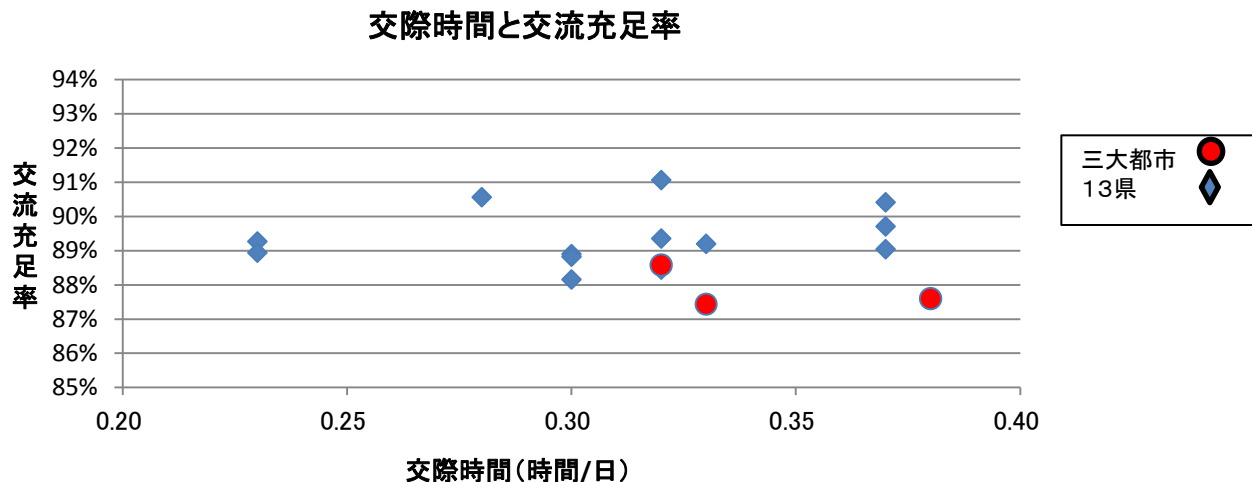


- ◆子どもの精神的成長に関する指標
「子どもの自己肯定感率」
「将来への夢や目標を持つ割合」、
「子どもの道徳心・社会性」
- ◆家族や地域との結び付きに関する指標
「子どもの家族交流率」
「子どもの地域行事への参加率」

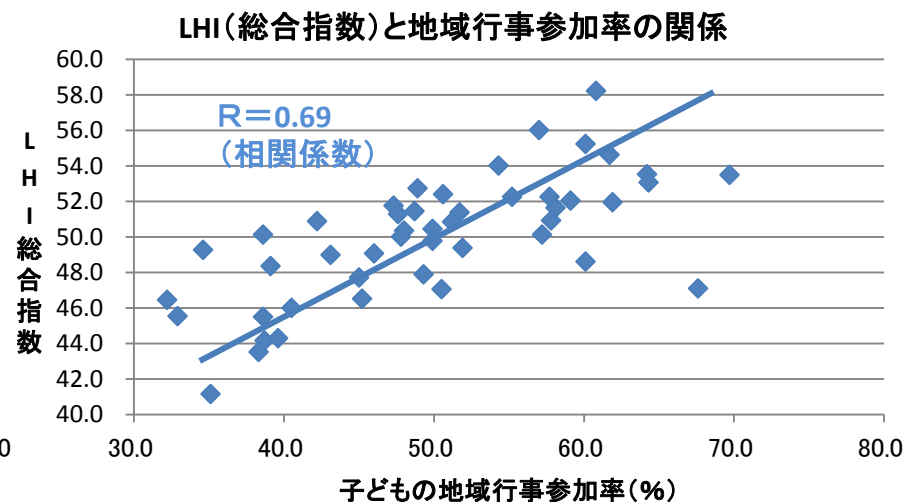
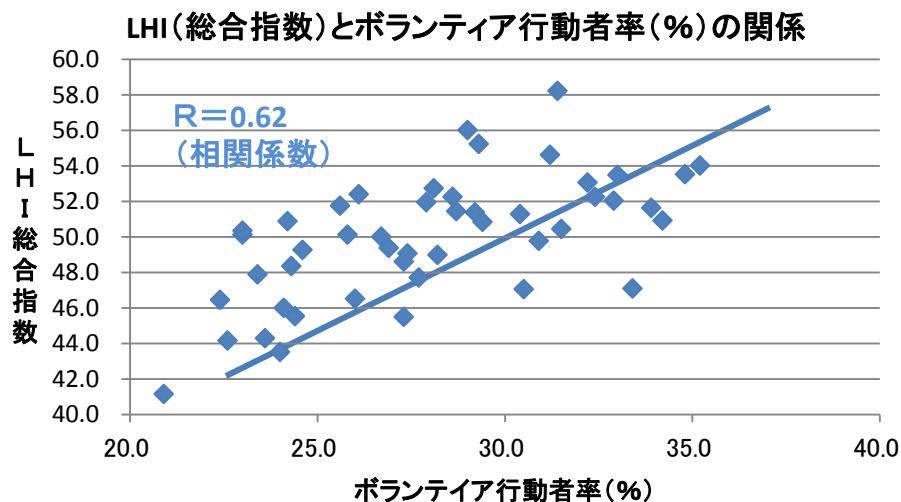
ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析【地域・交流分野】

◎交際時間は大都市の方が長い一方、交流の充足率では地方(13県)が大都市を上回る傾向



◎ボランティア活動や子どもの地域行事に熱心な地域は、LHIが総合的に高い傾向



ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析① 指標間の相関係数【総合・仕事分野】

赤色セル R>0.5
緑色セル R<-0.5

	LHI 総合指数	就業率	正規 就業者率	実収入	職業訓練・自己 啓発実施率	高齢者 有業率	仕事 充足率
LHI総合指数	1.000	0.636	0.466	0.235	0.292	0.499	0.294
就業率	0.636	1.000	0.255	0.287	0.568	0.653	-0.254
正規就業者率	0.466	0.255	1.000	0.359	-0.039	0.357	0.185
実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	0.235	0.287	0.359	1.000	0.127	0.300	0.046
職業訓練・自己啓発実施率	0.292	0.568	-0.039	0.127	1.000	0.410	-0.369
高齢者有業率	0.499	0.653	0.357	0.300	0.410	1.000	-0.033
仕事充足率	0.294	-0.254	0.185	0.046	-0.369	-0.033	1.000
結婚率(偏差値)	0.521	0.185	0.357	0.170	-0.008	0.238	0.322
合計特殊出生率	0.295	-0.029	0.099	-0.208	-0.326	-0.069	0.474
子どもの家族交流率(偏差値)	0.394	0.048	0.130	-0.156	-0.241	0.139	0.309
家庭内ワークライフバランス率(偏差値)	0.300	-0.044	0.521	0.094	-0.201	0.288	0.395
家族等同居高齢者率	0.560	0.480	0.392	0.142	-0.051	0.280	-0.111
家族関係充足率	0.042	-0.369	-0.048	-0.210	-0.498	-0.261	0.769
健康実感率	0.188	0.246	-0.360	-0.136	0.183	-0.150	0.021
自立調整健康余命(偏差値)	0.584	0.391	0.184	0.198	0.423	0.371	0.067
健康診断受診率	0.513	0.626	0.318	0.149	0.326	0.367	-0.375
子どもの体力(偏差値)	0.583	0.313	0.414	0.126	0.006	0.179	0.009
高齢者スポーツ行動者率	0.054	0.274	-0.381	0.089	0.626	0.092	-0.202
健康充足率	0.201	0.334	-0.328	-0.083	0.034	-0.112	0.078
子どもの学力(偏差値)	0.383	0.105	0.539	0.223	0.114	0.190	0.024
子どもの道徳心・社会性(偏差値)	0.546	0.001	0.340	-0.120	-0.404	0.069	0.395
将来の夢や目標を持っている(偏差値)	0.431	0.079	0.228	-0.149	-0.222	0.055	0.141
大学等進学率	0.078	0.310	-0.090	0.239	0.696	0.289	-0.388
高齢者自己啓発時間	-0.035	0.114	-0.139	-0.022	0.532	0.049	-0.254
子どもの自己肯定感率(偏差値)	0.655	0.154	0.401	-0.046	-0.046	0.245	0.317
ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	0.621	0.286	0.316	-0.009	0.114	0.320	0.257
子どもの地域行事への参加率(偏差値)	0.692	0.409	0.338	0.037	0.016	0.446	0.140
交際時間(15歳以上)	0.208	0.211	-0.301	-0.071	0.254	-0.070	-0.166
地域の安全安心(偏差値)	0.179	-0.175	0.269	-0.006	-0.183	-0.096	0.196
高齢者の社会参加時間	0.185	0.231	-0.164	0.035	0.339	-0.080	-0.226
交流充足率	0.404	-0.041	0.159	0.006	-0.414	-0.092	0.724

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析② 指標間の相関係数【家族分野】

赤色セル R>0.5
緑色セル R<-0.5

	結婚率 (偏差値)	合計特殊 出生率	子どもの家族 交流率(偏差値)	家庭内ワークライフ バランス率(偏差値)	家族等同居 高齢者率	家族関係 充足率
LHI総合指数	0.521	0.295	0.394	0.300	0.560	0.042
就業率	0.185	-0.029	0.048	-0.044	0.480	-0.369
正規就業者率	0.357	0.099	0.130	0.521	0.392	-0.048
実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	0.170	-0.208	-0.156	0.094	0.142	-0.210
職業訓練・自己啓発実施率	-0.008	-0.326	-0.241	-0.201	-0.051	-0.498
高齢者有業率	0.238	-0.069	0.139	0.288	0.280	-0.261
仕事充足率	0.322	0.474	0.309	0.395	-0.111	0.769
結婚率(偏差値)	1.000	0.231	0.075	0.549	0.608	-0.127
合計特殊出生率	0.231	1.000	0.190	0.300	0.107	0.324
子どもの家族交流率(偏差値)	0.075	0.190	1.000	0.170	0.186	0.388
家庭内ワークライフバランス率(偏差値)	0.549	0.300	0.170	1.000	0.330	0.116
家族等同居高齢者率	0.608	0.107	0.186	0.330	1.000	-0.310
家族関係充足率	-0.127	0.324	0.388	0.116	-0.310	1.000
健康実感率	-0.169	0.380	-0.127	-0.302	-0.056	0.120
自立調整健康余命(偏差値)	0.364	0.331	0.051	0.284	0.243	-0.207
健康診断受診率	0.147	-0.123	0.392	0.097	0.593	-0.379
子どもの体力(偏差値)	0.315	0.133	0.179	0.105	0.539	-0.039
高齢者スポーツ行動者率	-0.112	-0.262	-0.201	-0.462	-0.271	-0.299
健康充足率	-0.123	0.022	0.082	-0.466	0.113	0.289
子どもの学力(偏差値)	0.279	-0.273	0.001	0.154	0.217	-0.061
子どもの道徳心・社会性(偏差値)	0.155	0.443	0.511	0.245	0.311	0.422
将来の夢や目標を持っている(偏差値)	-0.020	0.108	0.505	-0.012	0.247	0.326
大学等進学率	0.085	-0.535	-0.404	-0.327	-0.133	-0.544
高齢者自己啓発時間	-0.141	-0.160	-0.271	-0.277	-0.308	-0.399
子どもの自己肯定感率(偏差値)	0.260	0.230	0.451	0.237	0.222	0.260
ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	0.471	0.364	0.486	0.478	0.410	0.039
子どもの地域行事への参加率(偏差値)	0.511	0.242	0.461	0.445	0.577	-0.029
交際時間(15歳以上)	-0.205	0.146	-0.049	-0.279	-0.037	-0.170
地域の安全安心(偏差値)	-0.018	0.093	0.262	0.337	0.227	0.232
高齢者の社会参加時間	0.291	-0.127	-0.243	-0.203	0.254	-0.408
交流充足率	0.163	0.438	0.325	0.264	0.100	0.790

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析② 指標間の相関係数【健康分野】

赤色セル R>0.5
緑色セル R<-0.5

	健康実感率	自立調整健康余命(偏差値)	健康診断受診率	子どもの体力(偏差値)	高齢者スポーツ行動率	健康充足率
LHI総合指数	0.188	0.584	0.513	0.583	0.054	0.201
就業率	0.246	0.391	0.626	0.313	0.274	0.334
正規就業者率	-0.360	0.184	0.318	0.414	-0.381	-0.328
実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	-0.136	0.198	0.149	0.126	0.089	-0.083
職業訓練・自己啓発実施率	0.183	0.423	0.326	0.006	0.626	0.034
高齢者有業率	-0.150	0.371	0.367	0.179	0.092	-0.112
仕事充足率	0.021	0.067	-0.375	0.009	-0.202	0.078
結婚率(偏差値)	-0.169	0.364	0.147	0.315	-0.112	-0.123
合計特殊出生率	0.380	0.331	-0.123	0.133	-0.262	0.022
子どもの家族交流率(偏差値)	-0.127	0.051	0.392	0.179	-0.201	0.082
家庭内ワークライフバランス率(偏差値)	-0.302	0.284	0.097	0.105	-0.462	-0.466
家族等同居高齢者率	-0.056	0.243	0.593	0.539	-0.271	0.113
家族関係充足率	0.120	-0.207	-0.379	-0.039	-0.299	0.289
健康実感率	1.000	0.180	-0.098	0.031	0.324	0.582
自立調整健康余命(偏差値)	0.180	1.000	0.329	0.145	0.318	-0.201
健康診断受診率	-0.098	0.329	1.000	0.323	-0.017	0.037
子どもの体力(偏差値)	0.031	0.145	0.323	1.000	-0.232	0.073
高齢者スポーツ行動者率	0.324	0.318	-0.017	-0.232	1.000	0.186
健康充足率	0.582	-0.201	0.037	0.073	0.186	1.000
子どもの学力(偏差値)	-0.313	-0.049	0.141	0.535	-0.250	-0.087
子どもの道徳心・社会性(偏差値)	0.121	0.052	0.132	0.520	-0.389	0.028
将来の夢や目標を持っている(偏差値)	0.103	-0.081	0.187	0.521	-0.241	0.128
大学等進学率	0.032	0.147	0.016	-0.055	0.636	-0.013
高齢者自己啓発時間	0.042	0.170	-0.046	-0.147	0.553	-0.084
子どもの自己肯定感率(偏差値)	0.055	0.205	0.167	0.531	-0.132	-0.017
ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	-0.126	0.481	0.483	0.199	-0.168	-0.153
子どもの地域行事への参加率(偏差値)	-0.208	0.398	0.528	0.376	-0.266	-0.080
交際時間(15歳以上)	0.466	0.291	0.164	-0.074	0.318	0.261
地域の安全安心(偏差値)	-0.241	-0.055	0.137	0.238	-0.509	-0.097
高齢者の社会参加時間	0.081	0.342	0.133	0.058	0.446	0.106
交流充足率	0.194	0.010	-0.123	0.175	-0.412	0.395

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析② 指標間の相関係数【教育分野】

赤色セル R>0.5
緑色セル R<-0.5

	子どもの 学力(偏差値)	子どもの道徳心・ 社会性(偏差値)	将来の夢や目標を 持っている(偏差値)	大学等 進学率	高齢者 自己啓発時間	子どもの自己肯定 感率(偏差値)
LHI総合指数	0.383	0.546	0.431	0.078	-0.035	0.655
就業率	0.105	0.001	0.079	0.310	0.114	0.154
正規就業者率	0.539	0.340	0.228	-0.090	-0.139	0.401
実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	0.223	-0.120	-0.149	0.239	-0.022	-0.046
職業訓練・自己啓発実施率	0.114	-0.404	-0.222	0.696	0.532	-0.046
高齢者有業率	0.190	0.069	0.055	0.289	0.049	0.245
仕事充足率	0.024	0.395	0.141	-0.388	-0.254	0.317
結婚率(偏差値)	0.279	0.155	-0.020	0.085	-0.141	0.260
合計特殊出生率	-0.273	0.443	0.108	-0.535	-0.160	0.230
子どもの家族交流率(偏差値)	0.001	0.511	0.505	-0.404	-0.271	0.451
家庭内ワークライフバランス率(偏差値)	0.154	0.245	-0.012	-0.327	-0.277	0.237
家族等同居高齢者率	0.217	0.311	0.247	-0.133	-0.308	0.222
家族関係充足率	-0.061	0.422	0.326	-0.544	-0.399	0.260
健康実感率	-0.313	0.121	0.103	0.032	0.042	0.055
自立調整健康余命(偏差値)	-0.049	0.052	-0.081	0.147	0.170	0.205
健康診断受診率	0.141	0.132	0.187	0.016	-0.046	0.167
子どもの体力(偏差値)	0.535	0.520	0.521	-0.055	-0.147	0.531
高齢者スポーツ行動者率	-0.250	-0.389	-0.241	0.636	0.553	-0.132
健康充足率	-0.087	0.028	0.128	-0.013	-0.084	-0.017
子どもの学力(偏差値)	1.000	0.278	0.334	0.212	0.078	0.439
子どもの道徳心・社会性(偏差値)	0.278	1.000	0.775	-0.401	-0.376	0.788
将来の夢や目標を持っている(偏差値)	0.334	0.775	1.000	-0.208	-0.327	0.767
大学等進学率	0.212	-0.401	-0.208	1.000	0.547	-0.007
高齢者自己啓発時間	0.078	-0.376	-0.327	0.547	1.000	-0.194
子どもの自己肯定感率(偏差値)	0.439	0.788	0.767	-0.007	-0.194	1.000
ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	0.130	0.322	0.159	-0.249	-0.126	0.267
子どもの地域行事への参加率(偏差値)	0.285	0.477	0.283	-0.123	-0.235	0.441
交際時間(15歳以上)	-0.233	0.041	-0.029	0.131	0.119	-0.001
地域の安全安心(偏差値)	0.273	0.339	0.258	-0.448	-0.184	0.188
高齢者の社会参加時間	-0.148	-0.261	-0.271	0.450	0.238	-0.129
交流充足率	0.107	0.545	0.328	-0.532	-0.470	0.362

ふるさと希望指数(LHI)の拡充(第二期)

LHI指標の構造分析② 指標間の相関係数【地域・交流分野】

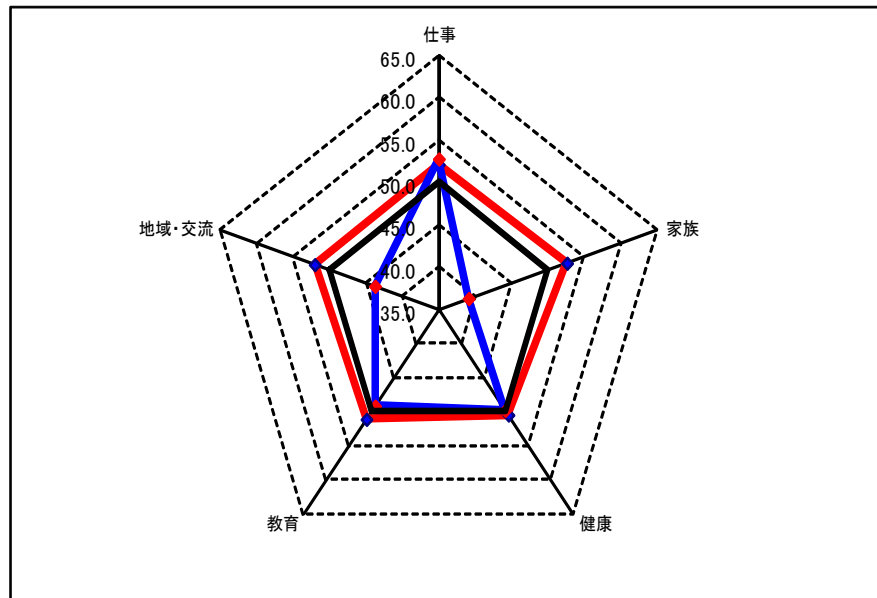
赤色セル R>0.5
緑色セル R<-0.5

	ボランティア活動の 年間行動者率	子どもの地域行事 参加率(偏差値)	交際時間 (15歳以上)	地域の安全 安心(偏差値)	高齢者の 社会参加時間	交流 充足率
LHI総合指数	0.621	0.692	0.208	0.179	0.185	0.404
就業率	0.286	0.409	0.211	-0.175	0.231	-0.041
正規就業者率	0.316	0.338	-0.301	0.269	-0.164	0.159
実収入(勤労者1世帯当たり1か月)	-0.009	0.037	-0.071	-0.006	0.035	0.006
職業訓練・自己啓発実施率	0.114	0.016	0.254	-0.183	0.339	-0.414
高齢者有業率	0.320	0.446	-0.070	-0.096	-0.080	-0.092
仕事充足率	0.257	0.140	-0.166	0.196	-0.226	0.724
結婚率(偏差値)	0.471	0.511	-0.205	-0.018	0.291	0.163
合計特殊出生率	0.364	0.242	0.146	0.093	-0.127	0.438
子どもの家族交流率(偏差値)	0.486	0.461	-0.049	0.262	-0.243	0.325
家庭内ワークライフバランス率(偏差値)	0.478	0.445	-0.279	0.337	-0.203	0.264
家族等同居高齢者率	0.410	0.577	-0.037	0.227	0.254	0.100
家族関係充足率	0.039	-0.029	-0.170	0.232	-0.408	0.790
健康実感率	-0.126	-0.208	0.466	-0.241	0.081	0.194
自立調整健康余命(偏差値)	0.481	0.398	0.291	-0.055	0.342	0.010
健康診断受診率	0.483	0.528	0.164	0.137	0.133	-0.123
子どもの体力(偏差値)	0.199	0.376	-0.074	0.238	0.058	0.175
高齢者スポーツ行動者率	-0.168	-0.266	0.318	-0.509	0.446	-0.412
健康充足率	-0.153	-0.080	0.261	-0.097	0.106	0.395
子どもの学力(偏差値)	0.130	0.285	-0.233	0.273	-0.148	0.107
子どもの道徳心・社会性(偏差値)	0.322	0.477	0.041	0.339	-0.261	0.545
将来の夢や目標を持っている(偏差値)	0.159	0.283	-0.029	0.258	-0.271	0.328
大学等進学率	-0.249	-0.123	0.131	-0.448	0.450	-0.532
高齢者自己啓発時間	-0.126	-0.235	0.119	-0.184	0.238	-0.470
子どもの自己肯定感率(偏差値)	0.267	0.441	-0.001	0.188	-0.129	0.362
ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上)	1.000	0.745	0.022	0.250	0.029	0.263
子どもの地域行事への参加率(偏差値)	0.745	1.000	0.021	0.252	0.061	0.270
交際時間(15歳以上)	0.022	0.021	1.000	-0.119	0.418	0.043
地域の安全安心(偏差値)	0.250	0.252	-0.119	1.000	-0.332	0.364
高齢者の社会参加時間	0.029	0.061	0.418	-0.332	1.000	-0.251
交流充足率	0.263	0.270	0.043	0.364	-0.251	1.000

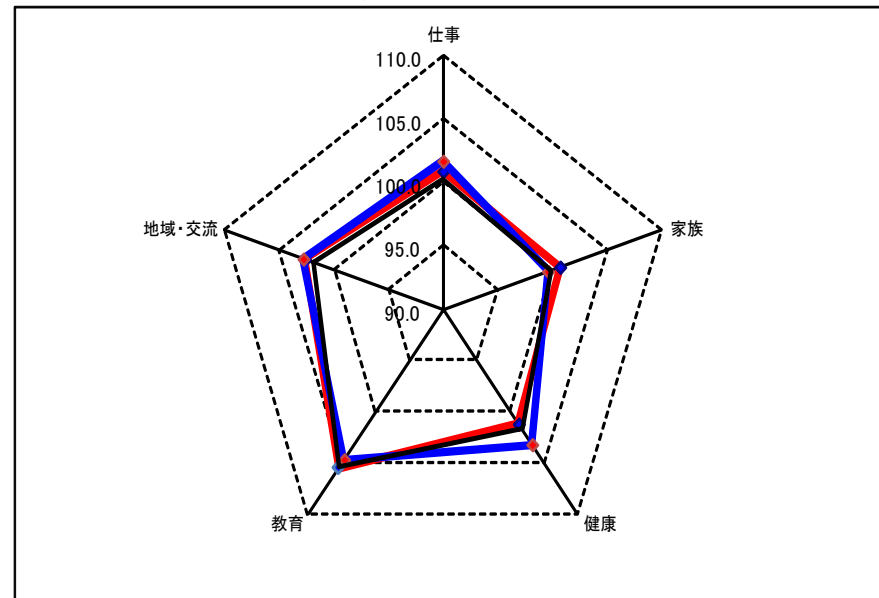
5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート【総合】

「現状の水準」と「過去からの向上」という複眼的視点からデータ化

統計数値(偏差値)



変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
地方	52.1	52.6	50.5	51.1	52.1
都市	52.8	39.1	49.8	49.2	43.8
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
地方	100.9	100.7	101.2	105.5	102.6
都市	101.7	99.6	103.2	104.7	102.8
全国平均	100.2	99.9	101.7	105.4	101.9

* 偏差値…47都道府県のLHI指標の原数値の平均値を50、ばらつき(標準偏差)を10として偏差値化

* 変化率…47都道府県のLHI指標の基準年における原数値を100としたときの3年後(原則)の数値

* 地方…ふるさと知事ネットワーク13県

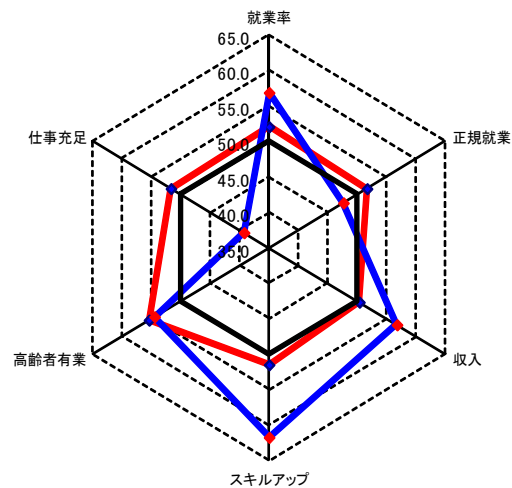
* 都市…東京都、大阪府、愛知県

5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

コメント:

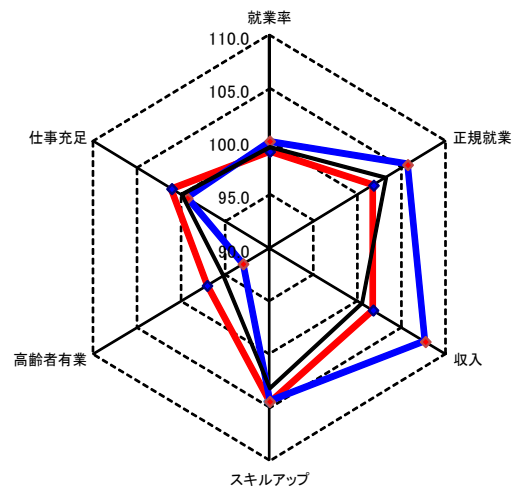
<仕事>

統計数値(偏差値)



	就業率	正規就業	収入	スキルアップ	高齢者有業	仕事充足
地方	52.1	51.6	50.3	51.5	55.4	51.7
都市	56.9	47.6	56.7	61.7	54.5	39.3
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	就業率	正規就業	収入	スキルアップ	高齢者有業	仕事充足
地方	99.0	101.8	101.7	104.5	97.1	101.1
都市	100.0	105.6	107.6	104.4	93.0	99.3
全国平均	99.4	103.2	100.6	103.2	95.2	100.0

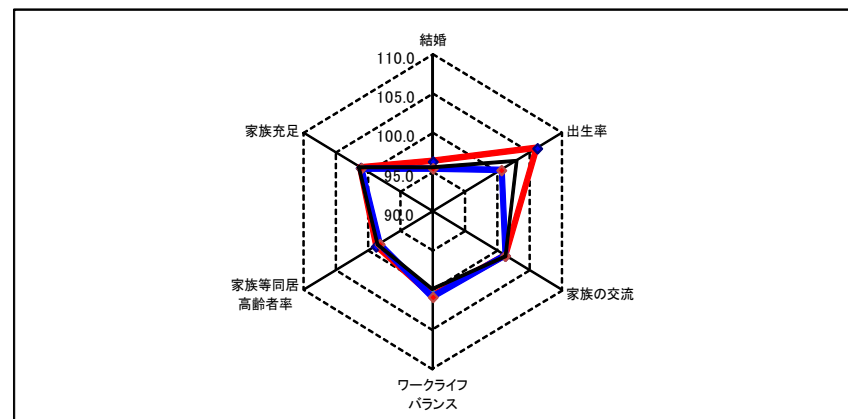
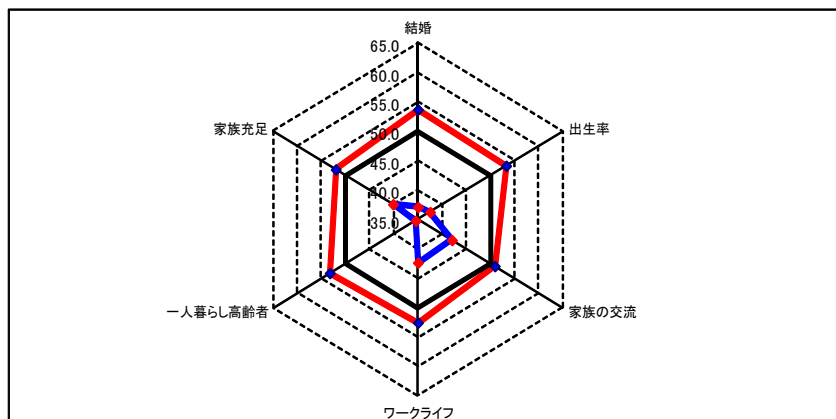
5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

コメント:

<家族>

統計数値(偏差値)

変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	結婚	出生率	家族の交流	ワークライフ バランス	一人暮らし高齢者	家族充足
地方	53.7	53.2	50.9	52.6	53.3	52.0
都市	37.1	37.5	42.0	42.4	35.5	40.2
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

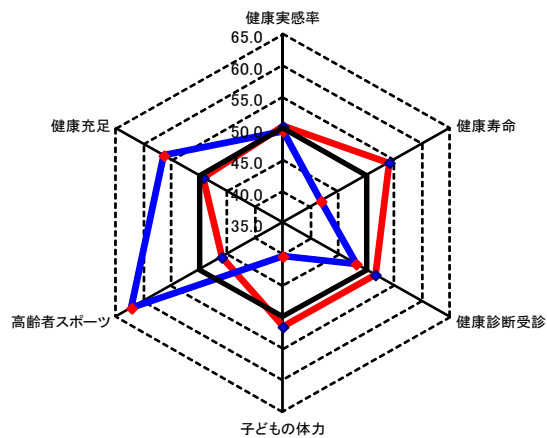
	結婚	出生率	家族の交流	ワークライフ バランス	家族等同居 高齢者率	家族充足
地方	96.4	106.1	101.2	100.6	98.8	101.2
都市	95.5	100.6	101.2	100.8	98.2	101.1
全国平均	95.7	102.9	101.2	99.8	98.4	101.4

5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

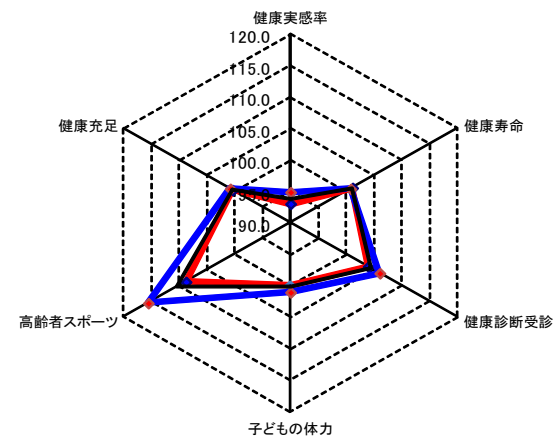
コメント:

<健康>

統計数値(偏差値)



変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	健康実感率	健康寿命	健康診断受診	子どもの体力	高齢者スポーツ	健康充足
地方	50.3	54.1	51.6	51.5	46.0	49.3
都市	49.6	41.8	48.1	40.4	62.2	56.4
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

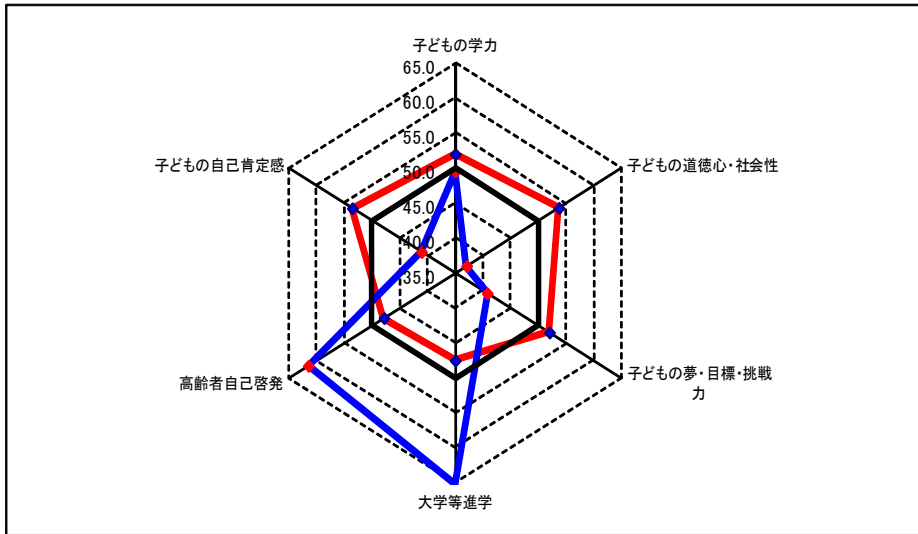
	健康実感率	健康寿命	健康診断受診	子どもの体力	高齢者スポーツ	健康充足
地方	93.0	101.1	103.9	100.0	108.8	100.4
都市	94.9	100.8	106.0	101.1	115.5	100.8
全国平均	93.8	101.0	104.6	100.0	110.3	100.5

5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

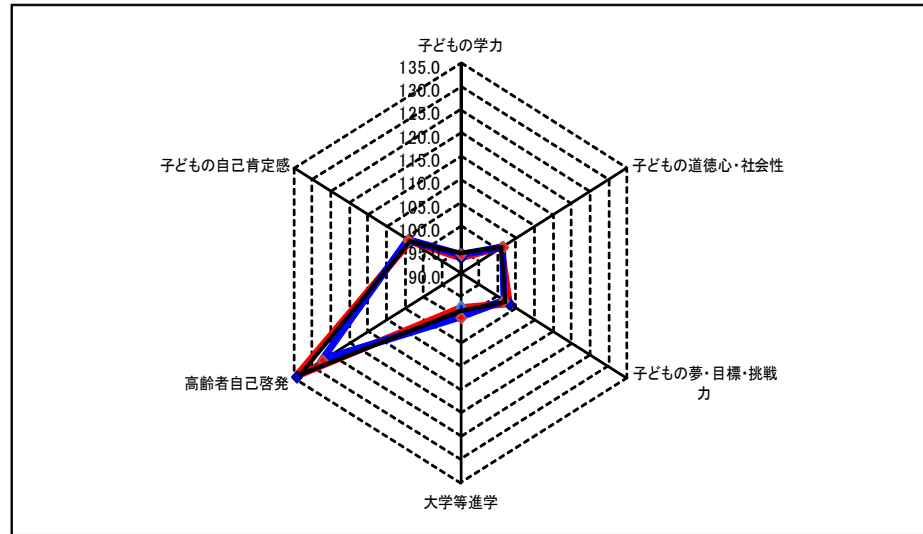
コメント:

<教育>

統計数値(偏差値)



変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	子どもの学力	子どもの道徳心・社会性	子どもの夢・目標・挑戦力	大学等進学	高齢者自己啓発	子どもの自己肯定感
地方	52.0	53.7	52.0	47.5	47.8	53.6
都市	49.5	37.1	40.8	65.1	61.5	41.1
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

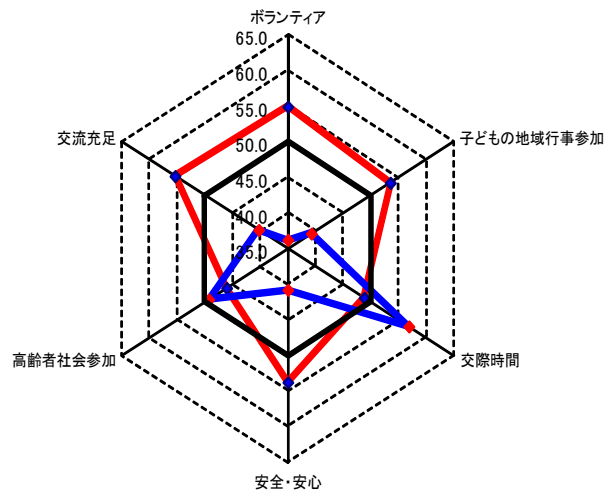
	子どもの学力	子どもの道徳心・社会性	子どもの夢・目標・挑戦力	大学等進学	高齢者自己啓発	子どもの自己肯定感
地方	93.4	101.0	103.1	97.4	134.4	103.7
都市	94.1	101.4	101.6	99.5	127.4	104.2
全国平均	94.2	101.1	102.2	98.0	133.3	103.5

5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

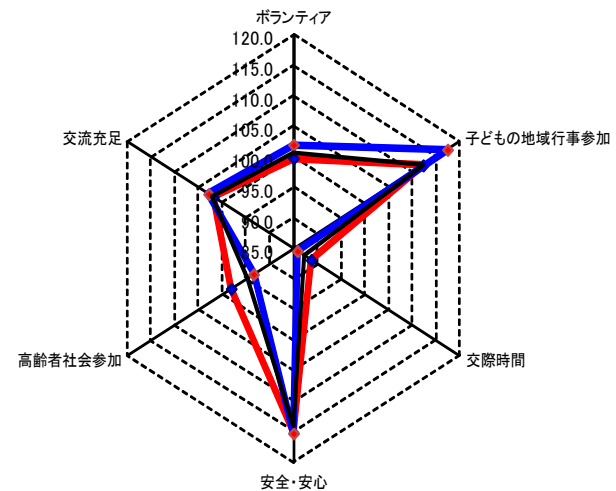
コメント:

＜地域・交流＞

統計数値(偏差値)



変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	ボランティア	子どもの地域行事参加	高齡者社会参加	安全・安心	交流時間	交流充足
地方	54.9	53.5	48.8	53.7	46.0	55.4
都市	36.2	39.2	56.8	40.8	49.3	40.3
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

	ボランティア	子どもの地域行事参加	高齡者社会参加	安全・安心	交流時間	交流充足
地方	99.8	112.3	88.7	115.1	98.1	101.9
都市	102.0	117.4	85.8	115.3	93.4	102.9
全国平均	100.8	112.5	87.3	113.9	94.6	102.2

希望の政策バンク ～「希望」を高める政策の学び合い～

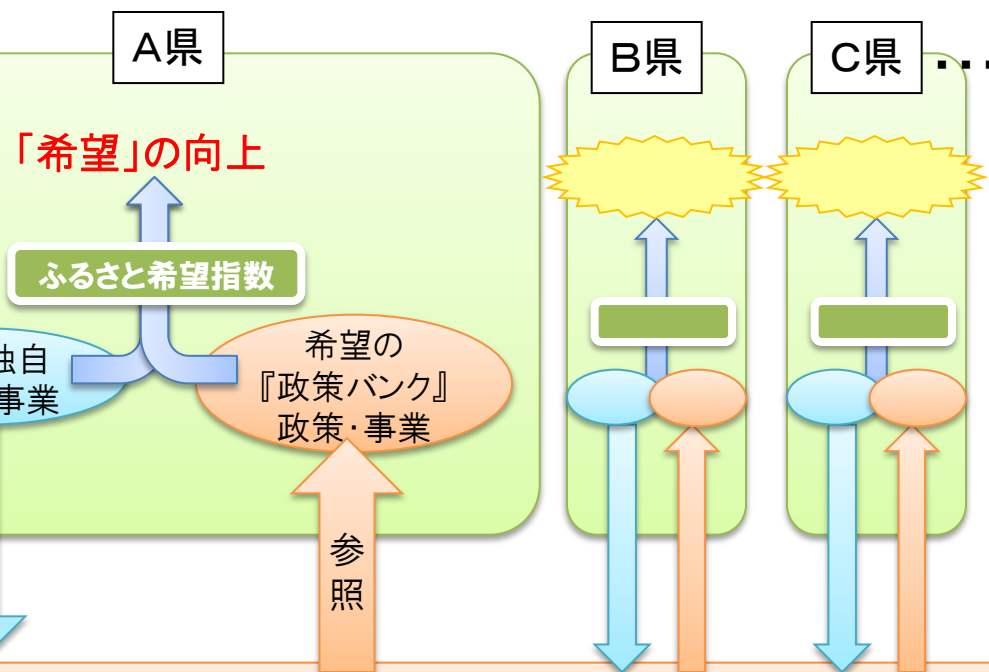
○ 人々の「希望」を高める政策づくりを学び合うため、各県の先進政策をとりまとめた「希望の政策バンク」を作成

<イメージ>

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

希望の政策バンク 掲載事業数

分野	H23 年度版	H24 年度版	H25 年度版	H26 年度版	増加数 (H23⇒H26)
仕事	21	29	34	37	16
家族	17	20	23	27	10
健康	21	24	29	31	10
教育	19	28	33	36	17
地域・交流	22	27	35	38	16
合計	100	128	154	169	54



「希望の政策バンク」～地方同士の政策の学び合い～

○ 各県の先進政策の持ち寄り

・仕事 ・家族 ・健康 ・教育 ・地域・交流